

■著作関係者

代表			
笠島 準一	上智大学名誉教授	小串 雅則	中央教育研究所監事
阿野 幸一	文教大学教授	関 典明	成城学園中学校高等学校参与



明石 達彦	東京都江戸川区立西葛西中学校主任教諭
荒井 貴和	上智大学講師
アレン玉井 光江	青山学院大学教授
飯塚 晃三	元兵庫県姫路市立琴陵中学校校長
五十嵐浩子	国士舘大学教授
池田 真	上智大学教授
石鍋 浩	明海大学教授
和泉 伸一	上智大学教授
磯部 文雄	元千葉県富津市立天羽東中学校校長
一條亜紀子	宮城県白石市立東中学校教諭
海野 康太	宮城教育大学附属中学校教諭
大井 恭子	清泉女子大学教授
大内由香里	東京都荒川区立第九中学校教諭
大里 弘美	比治山大学准教授
大下 邦幸	福井大学名誉教授
大嶋 秀樹	滋賀大学教授
大下 誠司	香川県高松市立下笠居中学校校長
太田かおり	西南女学院大学教授
大谷あすみ	埼玉県嵐山町立玉ノ岡中学校教諭
大塚 恵理	京都府京都市立上京中学校教諭
大友 麻子	東北学院大学准教授
葛西 猛	北海道函館市立戸倉中学校教諭
笠原 究	北海道教育大学教授
梶田 哲也	京都府京都市立朱雀中学校教諭
柏 敬太	北海道教育大学附属札幌中学校教諭
鎌田真由美	鳥根大学教育学部附属義務教育学校教諭
上萩 琴美	徳島県石井町藍畑小学校教頭
北野マグダ	文教大学准教授
國宗 芳彦	一般社団法人香川県進路指導研究部 研究主任
黒澤 敬	東京都中野区立第四中学校主任教諭
小泉 香織	渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭
肥沼 則明	筑波大学附属中学校主幹教諭
河本 政浩	ノートルダム清心学園清心中学校・ 清心女子高等学校教諭
高本 裕迅	白百合女子大学教授
小寺 恭子	広島県東広島市立高美が丘中学校 指導教諭
後藤 博宣	神奈川県横須賀市立田戸小学校教頭
小林 翔	茨城大学助教
齋藤 英敏	茨城大学准教授
齊藤 大行	神奈川県川崎市立川崎高等学校附属中学校 教諭

佐々木雅人	鳥取県鳥取市立河原第一小学校教頭
佐藤 勉	福井県福井市湊小学校教頭
佐藤 博晴	山形大学教授
實重 詔子	鳥根県安来市立広瀬中学校教頭
澤田 靖	新潟県上越市立春日中学校校長
杉田 由仁	明治学院大学教授
杉本 義美	京都外国語大学教授
鈴木三千弥	福井県福井市立中学校教諭
鈴木 涉	宮城教育大学准教授
壽原友理子	東京都立両国高等学校附属中学校教諭
関 実	東京都板橋区立高島第一中学校校長
曾我部裕司	徳島県小松島市小松島南中学校教頭
田岡 綾	高知県高知市立旭中学校指導教諭
高田 純子	鳥根県雲南市立吉田中学校教諭
高田 真一	石川県金沢市立港中学校教諭
高橋 俊章	山口大学教授
高橋 尚	宮城県利府町立しらかし台中学校教諭
高山 大輔	福井県福井市明倫中学校教諭
建内 高昭	愛知教育大学教授
竹島 朱美	大阪府大阪市立春日出中学校主務教諭
竹村 依子	京都府京都市立神川中学校教諭
巽 徹	岐阜大学教授
立松 大祐	愛媛大学准教授
種井 一郎	兵庫県神戸市立塩屋中学校教諭
土田 友信	石川県金沢市立長田中学校教諭
津波 聡	沖縄国際大学教授
坪田 裕希	東京都武蔵野市立第一中学校主任教諭
天王寺谷圭司	鳴門教育大学附属中学校教諭
豊嶋 正貴	文教大学付属中学校・高等学校教諭
富田 彰憲	香川県高松市立牟礼中学校教諭
永尾 智	香川大学教授
中島 義和	西南学院小学校教諭
長沼 真人	秋田県秋田市立秋田西中学校教諭
長嶺 寿宣	熊本大学准教授
中村 隆秀	滋賀県東近江市立能登川南小学校 英語専科指導教員
中村 典生	長崎大学教授
名越 智子	神奈川県川崎市立東高津中学校教諭
奈良 恵子	秋田公立美術大学附属高等学院副校長
縄田 裕幸	鳥根大学教授

根本 誉	東京都北区立王子桜中学校主幹教諭
橋本 憲	鳥根県安来市立第一中学校教諭
濱田 陽	秋田大学准教授
林 裕子	佐賀大学准教授
平間 貴志	神奈川県川崎市立稲田中学校総括教諭
平松 直	香川県高松市立木太中学校教頭
藤本あや子	山口県下関市立川中学校教諭
藤本 美佳	山口県下関市立東部中学校教諭
船田 弘一	大阪府堺市立福泉南中学校教諭
古家 貴雄	山梨大学大学院教授
前川 卓哉	東京都渋谷区立松涛中学校主任教諭
松尾 隆治	宮城県多賀城市立多賀城中学校校長
松岡 敬明	十文字学園女子大学教授
三浦 順治	秋田大学名誉教授
村上 博喜	宮城県大崎市立古川南中学校教諭
村野井 仁	東北学院大学教授
安海 和枝	梅光学院中学校・高等学校講師
谷内恵美子	石川県白山市立松任中学校指導教諭
矢野 淳	静岡大学教授
山田 悦子	山口県立下関中等教育学校教諭
山野 有紀	宇都宮大学准教授
横澤 康子	東京都調布市立第五中学校主任教諭
横山優美香	兵庫県川西市立明峰中学校教諭
吉澤 孝幸	秋田県立秋田南高等学校中等部教諭
依田 真弓	岡山県玉野市立荘南中学校教諭
Gina Bertolino	エッセイスト
Mark Fennelly	四国大学准教授
Brian Peck	昭和女子大学講師
東京書籍株式会社	(ほか17名)

特別支援教育に関する編集協力

道面 美紀	東京都墨田区立本所中学校指導教諭
村上加代子	甲南女子大学准教授

色彩デザインに関する編集協力

色覚問題研究グループばすてる

NEW HORIZON

English Course



Contents

NEW HORIZONの理念	2	各構成要素の説明	16
「変わる学び」への対応	4	入試対応	24
全体構成	6	題材紹介	26
改訂の3大ポイント		語彙，時数，特別支援	28
①小中接続期を充実	8	デジタル教科書・デジタル教材・	
②Previewを新設	10	教師用指導書	30
③「3段階読み」で対応	12		

東書Eネットの特集ページでも、
音声・動画付きで
詳しくご紹介しています！

東京書籍 中学校英語

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/



この資料は、令和3年度中学校教科書の内容解説資料として、
一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。
[QRコード]は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

新しい英語の時代へ ふみ出そう

これからの英語に求められること

小学校英語の
教科化への対応

目的・場面・状況
に応じた
コミュニケーション

考えを深め、
表現する力

英語教育改革のもと、求められる英語力は大きく変わります。
教科書づくりのうえで、不安や疑問の声をお聞きする一方、
今こそ授業を変えたいという先生方が全国にいらっしゃることもわかりました。
そして、先生方に共通するのは、「生徒の英語力を伸ばしたい」という願いです。
いつの時代も、新しい一歩を提案してきたNEW HORIZON。
その支えになってきたのは、先生方のお声でした。
今回も、先生方の切なる願いを知り、大きく教科書を変える勇気をいただきました。
「生徒がもっと英語を使う姿」を実現するために、
改革の波を乗り切り、水平線の先を目指して、
新たな一歩をふみ出しましょう。

NEW HORIZONは、
いつの時代も
水平線の先を
目指してきました。

昭和41年 発刊

初版当時から、表紙の船には
新しい英語教育への思いが
こめられていました。



平成14年度版

Unit(基礎)とPlus(技能別
活用)の2部構成を採用し
ました。



平成28年度版

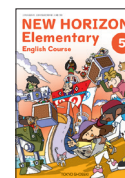
CAN-DOリストをもとに
した各単元の目標を示し、
学習の見通しを明確にしま
した。



小中高のつながりを
だいじにしています。

小学校
NEW HORIZON
Elementary

令和2年度、小学校英語教科化に伴う
記念すべき初版本です。



高等学校
All Aboard!, Power On,
PROMINENCE

中学校での学びをさらに深め、表現力
を育成します。





NEW HORIZONは「変わる学び」を支えます。

これまでの
英語の学びから
どう変わる？

新しい教科書では

小学校英語の
教科化への対応

Q

生徒たちが
小学校で
学んできたことを
生かすポイントって
何ですか？

A

「音」から「文字」へ

小学校では、「聞く」「話す」が中心。聞いたり話したりする「音」の活動から始めるのが効果的。

「表現」から「文法」へ

小学校では、「文法」学習は行いません。小学校で扱った「表現」をできるだけ早いうちに取り上げ、文法として整理することが重要。

Point

1

小中接続期を充実

→詳しくは、本誌p. 8

入学から夏休み前までの期間をかけて、丁寧につなぎます。(Unit 0～Unit 5)

- Unit扉ではリスニング活動、パートの最初は小学校で学んだ表現を使って「話す」活動を行い、本文も音で聞いてから読みに入ります。
- 小学校で扱った「表現」をいったん全て取り上げます。それらを中学校の「文法」学習として積み上げられるように再配列しています。



小学校のことに詳しくなくても、要素は教科書に全部入っているので安心です。



目的・場面・状況
に応じた
コミュニケーション

Q

文法を
コミュニケーションに
結びつけるには、
どうしたら
よいのでしょうか？

A

目的・場面・状況への「気づき」

新学習指導要領では、文法は「必要性や有用性を実感」させたい、「規則性や構造」に気づきを促すこと、「指導に当たっては、コミュニケーションを行う目的、場面、状況」を設定することを求めています。また、文法の「用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮」する点が明記されています。

Point

2

Preview を新設

→詳しくは、本誌p. 10

Unit本文の前に、
文法の「目的・場面・状況」を表す
音と映像を見て、「気づき」を促します。

目的
場面
状況

特に目的・場面・状況に注目したいところには、マークがあります。



考えを深め、
表現する力

Q

中学校では、
どのように
「読む」学習を
するのでしょうか？

A

「読み」を発信につなぐ指導

中学校では、本格的な読みの指導が始まります。新学習指導要領にあるように、「必要な情報を読み取る」、「概要を捉える」、「要点を捉える」こと、そうやって「得られた情報や表現」を活用し、「話したり書いたりして」自分の考えや気持ちなどを表現する力が求められます。内容の理解にとどまらず、考えを表現する力は、全国学力調査や入試でも問われます。

Point

3

「3段階読み」で対応

→詳しくは、本誌p. 14

さまざまなタイプの読み物を取り上げ、生徒の考えを深め、発信につなげます。

3段階読み

- ① 概要・大意をつかむ
- ② 詳細をおさえる
- ③ 表現につなげる



全体 「小中高CAN-DOリスト」に基づく構成

『NEW HORIZON』は小中高を貫く独自のCAN-DOリストに基づいて、**段階的・系統的に学習が進められる**よう、3年間の学習内容を構成しています。

小中高の一貫性のよりどころ

「東書CAN-DOリスト」

小中高の新学習指導要領を一覧表にすると、一貫したCAN-DOリストができます。それを到達目標として達成するために、当社独自のCAN-DOリストを作成しました。中学校については、まず卒業時の到達目標を決め、そこから各学年へ、そして各単元(Unit, Stage Activity, Let'sシリーズ)の到達目標へとおろす逆向き設計となっています。

巻頭：目標の把握

pp.2-3で
学習の見通し

目標に到達するための具体的な題材や活動、文法事項を一覧にしたのが、各学年のpp.2-3です。学年の最初にこの見開きを使って、学習の見通しを立てます。

目標と評価
の一致

巻末：自己評価

「CAN-DOリスト」で
ふり返り

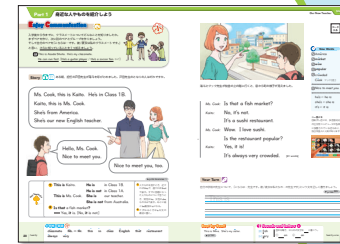
巻末のCAN-DOリストは、学年・Stageごとに設定しています。各Stageで学習したことをふり返り、技能が身についたかどうかを自己評価します。

各Stageの構成

Unit

文法について、目的・場面・状況から導入し、4技能を使った学習を行います。

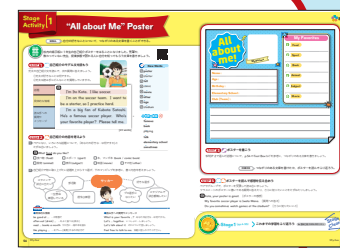
→ 本誌 pp. 8-15



Stage Activity

複数の技能・領域を統合的に活用し、自己表現をします。

→ 本誌 p. 16



Let'sシリーズ

4技能を集中的に扱い、よりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばします。

→ 本誌 pp. 18-21



巻頭 pp.2-3

学習の見通しを立てよう

目標

Stage

Unit

Stage Activity

Stage	Unit	Stage Activity	Let's Series
1	0 Welcome to Junior High School	1 "All about Me" Poster	1 "All about Me" Poster
1	1 New School, New Friends	2 A Speech about My Brother	2 A Speech about My Brother
2	2 Our New Teacher	3 Foreign Artists in Japan	3 Foreign Artists in Japan
3	3 Club Activities	4 A Surprise Party	4 A Surprise Party
4	4 Friends in New Zealand	5 Think Globally, Act Locally	5 Think Globally, Act Locally
5	5 A Japanese Summer Festival	6 My Hero	6 My Hero
6	6 A Speech about My Brother	7 Winter Vacation	7 Winter Vacation
7	7 Foreign Artists in Japan	8 This Year's Memories	8 This Year's Memories
8	8 A Surprise Party	9 My Favorite Event This Year	9 My Favorite Event This Year
9	9 Think Globally, Act Locally		
10	10 Winter Vacation		
11	11 This Year's Memories		

目標と評価
の一致

Let's
シリーズ

巻末 CAN-DOリスト

学習をふり返ろう — CAN-DOリスト —

評価

学年	Stage	Unit	Stage Activity	Let's Series
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3

自分が体験したことやその感想などについて、つながりのある文章を書くことができます。

U11, LW2, SA3



小中接続期を充実

小学校の学びを生かし、丁寧に中学校の学びにつなぐために、入学から夏休みまでの期間を当てています。
小学校で学んだ「表現」を使って「聞く」「話す」活動から授業に入ります。

1年Unit 1～5の学習の展開例

1

扉

リスニングで概要把握

Unitは、単元全体の本文を「聞く」ことから始めます。
音声で単元の内容をイメージします。

音

2

Enjoy Communication



小学校の「表現」を使う

Partの最初に小学校で慣れ親しんだ「表現」を使って「話す」活動を行います。生徒は既習の「表現」を思い出し、教師はレディネスチェックを行います。

音

表現

3

Story (本文)

本文も「音」が先

生徒はまだ文は読めませんが、慣れ親しんだ「表現」を使った内容なので、聞くとわかります。まず聞かせて、指で追いつながら徐々に文字と一致させます。

音→文字

表現

4

Key Sentence (基本文)

文法的に整理

生徒は中学校で初めて文法を学習します。小学校では「目的・場面・状況」に合う「表現」として扱っているので、同じ視点からおさえると効果的です。

表現→文法

1

Our New Teacher

Unit 2



身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができます。

Enjoy Listening

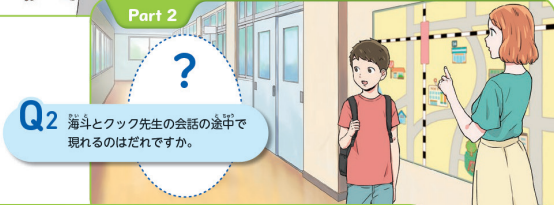
入学からしばらくたったある日、新しいALTのクック先生がやってきます。

Part 1



Q1 戸田先生がクック先生に紹介しているのはだれですか。

Part 2



Q2 海斗とクック先生の会話の途中で現れるのはだれですか。

Part 3



Q3 クック先生のふだんの朝食メニューを3つ選び、☑をつけましょう。

小学校の単語
our teacher

nineteen 19

▲1年 p.19 Unit 2

2

Part 1 身近な人やものを紹介しよう

Enjoy Communication

入学後から今までに、クラスメートについてどんなことを知りましたか。まずペアを作り、次に別のペアとグループを作りましょう。そして自分のペアを「こちらは…です。彼/彼女は私のクラスメートです。」と言い、さらに知っていることを1つ加えましょう。

例 This is Asada Shota. He's my classmate.
He can run fast. [He's a guitar player. / He's a soccer fan. など]



3

Story

ある朝、担任の戸田先生が海斗を呼びとめました。戸田先生のとりの人はだれですか。

Ms. Cook, this is Kaito. He's in Class 1B.
Kaito, this is Ms. Cook.
She's from America.
She's our new English teacher.



Hello, Ms. Cook.
Nice to meet you.

Nice to meet you, too.

4

Key Sentence

⑦ This is Kaito. He is in Class 1B.
This is Ms. Cook. She is our teacher.
⑧ Is that a fish market?
— Yes, it is. [No, it is not.]

⑨ 人やものを指すとき、近ければthisで、遠ければthatで表す。すでに話題になった人やものについて言うときは、男性はhe、女性はshe、ものはitで表す。あとに続くbe動詞はisになる。
⑩ たずねるときはisを文の最初に置く。

小学校の単語
classmate Ms. ⇒ Mr. this in class English that restaurant
always very



海斗とクック先生が校舎の上の階に行くと、窓から町の様子が見えました。

Ms. Cook: Is that a fish market?
Kaito: No, it's not.
It's a sushi restaurant.
Ms. Cook: Wow. I love sushi.
Is the restaurant popular?
Kaito: Yes, it is!
It's always very crowded. [61 words]

Your Turn

自分の学校の先生について、「こちらは…先生です。彼/彼女は私たちの…の先生です」という文を正しく書きましょう。

This is _____

Best by Best!
This is Mina. She's my sister.
p.164

Sounds and Letters 4
[f] fish 音声を聞き、はじめの文字を _____ に書こう。
[v] very ① an ② an

Our New Teacher Unit 2



本ページ右下のQRコードから実際の音声を聞くことができます。

New Words
✓ América
✓ market
✓ wow
✓ popular
✓ crowded
Cook クック(姓)
Nice to meet you.
he's ⇒ he is
she's ⇒ she is
it's ⇒ it is

① 音メモ
回転ずし店には、多言語対応の注文用コンピュータが各席に設置されている店もあり、訪日外国人に人気があります。



Unit 0は？

教科書pp.4-8

小学校の活動、アルファベットの名前と音、文字の書き方の要点をまとめています。
全5ページ2時間配当なので、できなくても立ち止まらずに、Unit 5までに繰り返し扱って、定着を図りましょう。



▲1年 pp.4-7 Unit 0

Unitの構成と配当時間

(6時間扱い)

構成	扉	Part 1	Part 2	Part 3
時数		1・2	3・4	5・6

← Part 1～3は、どのUnitも同じ構成です。

小学校の単語

生徒が聞いてわかる単語です。
書く単語は、「Your Turn」で必要なものを中心に指導します。

→ 本誌 p.28 「語彙の扱い」

マークの意味



小学校マーク

小学校の既習事項であることを示します。



Sounds and Letters

音と文字の関係をおさえる活動で、帯活動で扱えます。



QRコード

本文と単語の音声を読み込みます。家庭学習に効果的です。

Unit 5までと同様、**目的・場面・状況に合う文法が使える**ようになるよう、
中学校で新出の文法事項を扱うUnit 6以降でも、どう使うかを「Preview」で気づかせる導入をします。

1年Unit 6～11の学習の展開例

1

扉

リスニングで新出文法を導入

ここまでの学習と同様に、「聞く」ことから始めます。
新出の文法が含まれていてもわかる簡単な内容のリスニングです。

2

Preview



映像で気づきを促す

文法を形として覚えるだけでなく、文法を使う「目的・場面・状況」を理解することで、必要なときに使える力が身につきます。この「目的・場面・状況」への気づきを、映像を見ることで促します。

3

Story (本文)

概要を把握する読み方

扉から一連のストーリーがつながっていて、生徒は話題を予想することができます。ここでも「聞く」ことから本文に入り、誰がどこで何をするのかなどの概要を把握する読み方につながります。

4

Key Sentence (基本文) + Practice

文法練習まで一連のストーリー

気づきを確実な知識としておさえます。文法確認のための代入練習Practiceも、登場人物や話が本文と関連しているので、生徒にとって意味のある練習ができます。

1

Unit 6

A Speech about My Brother

GOAL 自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。

Starting Out

Warm-up 人を紹介する言い方は p.20 で学習したね。

ペアで、メガ役とジョシュ役にわかれましょう。そして、下の①～③のキーワードを参考に、I have a brother (sister). の文に続けてきょうだいを紹介するスピーチをしましょう。

① 名前 / 年齢	サム(Sam) / 5歳	マリア(Maria) / 16歳
② 得意なこと (be good at ...ing)	歌うこと	泳ぐこと
③ 2人でよくすること (We often ...)	walk in the park	play with our dog

Enjoy Listening

朝美が家族について紹介するスピーチをしています。発表を聞いて、内容に合うものを選びましょう。

① 紹介している人 ☐ 父 ☐ 母 ☐ 兄 ☐ 弟

② その人が住んでいる場所 ☐ 日本 ☐ 外国

③ 朝美のスピーチについて海斗が質問をします。対話の中で聞こえた話題を選びましょう。

小学校の単語 speech brother sister

▲1年 p.57 Unit 6

次のページをめくる前に
QRコードを読み込んで
Previewの映像を見ましょう！

Warm-upで、既習事項を復習

発話例

I have a brother. He's Sam.
He's five. He's good at singing.
We often walk in the park.

Enjoy Listeningで、
新出の文法事項を「音」で導入

スクリプト

Hello, everyone. Look at this picture. This is Takuya, my brother. He's twenty years old. He lives in the Philippines. He studies English at a language school there. He has many friends at school. He really likes the Philippines.

2

Preview

目的 場面 状況 朝美と海斗はだれについて話していますか。

主題がI, youのときは、heやsheなどのときは動詞の形はどううかな。

This is Takuya, my brother. He lives in the Philippines.

Does he like scuba diving?

Yes, he does.

コラム ～フィリピン～

多くの島々から成るフィリピンには、100以上の地方語が存在します。また、かつてスペインやアメリカの植民地だったこともあり、スペイン語や英語など複数の言語も話されるようになりました。現在の公用語はフィリピン語と英語です。

フィリピンは東南アジアに位置する島国です。日本からは飛行機で約4時間半です。

Salamat. (英語ではThank you.)

58 fifty-eight

3

Story ①

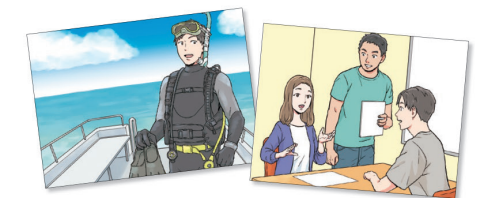
A Speech about My Brother Unit 6

ある日の英語の授業で、朝美は兄の卓也(Takuya)についてスピーチします。

本文と質問を聞き、答えを○で読みましょう。[㊤ ㊦ ㊧ ㊨]

Hello, everyone. Look at this picture. This is Takuya, my brother. He's twenty years old. He lives in Cebu, the Philippines. He studies English at a language school there. He meets many Asian students at school.

Takuya goes to school on weekdays, and sometimes enjoys scuba diving on weekends. Cebu has many beautiful beaches. He and his friends go diving together. He really likes Cebu. [65 words]



卓也がなぜセブを留学先に選んだのかを考えましょう。

I live in Cebu.
Takuya lives in Cebu.

Practice 例 Takuya lives in Cebu.

卓也や彼の友人の習慣や様子です。

① Takuya / walk / to school ② he / eat / bananas every day ③ Yuna / speak / English well



クラスメートや家族など、身近な人が決まった曜日にすることについて言い、ノートに書きましょう。

fifty-nine 59

▲1年 pp.58-59 Unit 6

Unitの構成と配当時間 (6時間扱い)

構成	扉	評価①					評価②	
		Preview	Story ①	Story ②	Mini Activity	Story ③	Unit Activity	
時数		1	2	3	4	5	6	

Mini Activityでは、主に文法の理解を確認し、「知識・技能」を評価します。
Unit末には、学習したことを総合的に確認する活動としてUnit Activityを設定し、「思考力・判断力・表現力」を評価します。



Practiceも、朝美の兄「卓也」についてのストーリーが続いているんだね！

扉には**単元を貫く問いを示し、英語の見方・考え方を培う**と同時に、学びを深める手立てとしています。より多様で深い内容の題材に触れることが、生徒の考えや思いを引き出します。

2・3年Unitの学習の展開例

1

扉

写真とPoint of Viewで題材導入

写真をもとに、英語で生徒とやり取りをし、題材内容への興味を高めます。さらに「単元を貫く問い」Point of Viewを提示して、考えさせます。

2

Preview



2・3年でもPreviewから

文法を使う「目的・場面・状況」を理解する重要性は、2・3年でも変わりません。2・3年では紙面に文字がなく、映像のみで気づきを促します。

3

Scene①②

概要を把握する読み方

Unit前半のScene①②の本文は、形式のある短めのものを取り上げ、次の「3段階読み」につなげます。扱う文法事項は、Unit中でより重要なものが先にくるようにしています。

Read and Think①②

3段階読み

Unit後半では「読む」ことを重点的に扱います。「3段階読み」の詳細は次ページへ。話題はずっと続いています。

1

Unit 1

A Trip to Singapore

GOAL 題材 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える。
3.6 休暇や週末の予定について、まとめることができる。▶ p.16

What countries do you want to visit?

New Words
experience [ɪkˈspɪəriəns] overseas [ˌoʊvərˈsɪz] Singapore [ˈsɪŋɡəˈpoʊr] シンガポール

Point of View ? What can we experience on overseas trips? ▶ p.15

▲2年 p.7 Unit 1

2

Preview

教室で、朝美とクック先生が話しています。
対話を聞いて、わかったことを伝え合ひましょう。



わかったこと

2人はどんなことについて話しているかな。

column コラム ～シンガポール共和国～

シンガポールは東南アジアにある多民族国家です。面積は約720平方キロメートル(東京都23区と同程度)と小さいながら、その中に中国系、マレー系、インド系などの民族がともに暮らし、多彩な文化を形成しています。言語についても、英語、中国語、マレー語、タミル語を公用語と定めています。シンガポールにはマライオンなど多くの観光スポットがあり、アジアを代表する旅行先として人気があります。

シンガポールの国旗

8 eight

▲2年 pp.8-9 Unit 1

3

Scene ①

朝美はゴールデンウィークの予定について、ジョシュにメールをします。
What is Asami's plan for the "Golden Week" holidays?

Hi, Josh.
Guess what? I'm going to visit Singapore during the "Golden Week" holidays. It's my first trip abroad. I'm so excited.
I'm going to stay with my aunt and her husband. They are going to show me around.
How about you?
Do you have any plans for the holidays?
Asami



[51 words]

Key Sentence
I am going to visit Singapore next week.
Are you going to visit Singapore next week?
— Yes, I am. [No, I am not.]

Practice 例 I am going to visit Singapore next week.

旅行に出発する前日、朝美がジョシュと話しています。

① I / leave for Singapore / tomorrow
② I / have dinner / on the airplane
③ we / visit this Sat



自分の今週末の予定について、「今週末に…するつもりです」という文を言い、ノートに書きましょう。

A Trip to Singapore Unit 1

New Words
golden [ˈɡoʊldən]
holiday(s) [ˈhɒlɪdeɪ(z)]
abroad [əˈbrɔːd]
aunt [aʊnt]
uncle [ˈʌŋkl]
husband [ˈhʌzbənd]
wife [waɪf]
the "Golden Week" holidays [ðə ˈɡoʊldən wɪk ˈhɒlɪdeɪz]
ゴールデンウィーク

Read and Think ②

その日の夜、朝美は日本にいるメグにEメールを書きました。
What does Asami feel about overseas trips?

Hi, Meg.
Today we visited Merlion Park and rode the Ferris wheel. People call it the Singapore Flyer. It took us up to 165 meters. It was scary, but fun.
We went shopping, too. I found four different languages on Singapore money—Malay, Chinese, Tamil, and English. People in Singapore speak different languages. My uncle speaks Tamil and English, so I can communicate with him.
Overseas trips are very interesting. We can experience different languages and cultures.

Asami

Practice 例 People call it the Singapore Flyer.

朝美がシンガポール旅行の写真を見せながら、ジョシュと話しています。

① I / my aunt / Emi-dachan ② my uncle / her / Emiko ③ she / me / Asa-chan
自分のまわりの人の呼びかたについて、「私は…を…と呼びます」という文を言い、ノートに書きましょう。

14 fourteen

2・3年では、コミュニケーションの「目的・場面・状況」に重点を置いて本文が展開されるため、パート名をSceneとしました。

Round 1 Get the Gist 朝美たちが行った順番になるように、()に番号を書きましよう。

the Singapore Flyer () shopping mall () Merlion Park ()

Round 2 Focus on the Details 本文の内容に合うように、()に適切な語を入れましよう。

① Did Asami enjoy the Singapore Flyer? — she _____ on it.
— She found _____
③ What languages does Asami's uncle speak? — He speaks _____ and _____.

Round 3 Think and Express Yourself 日本にいるメグは、朝美のEメールに返信しました。に適切な語を入れて、メグのEメールを完成ましよう。

Hi, Asami.
Thanks for your e-mail. You had a very good time in _____! I want to ride the _____ with you someday.
And I also want to see Singapore _____ languages. People in Singapore _____ It sounds interesting!
I'd like to hear about your trip.
Bye for now,
Meg

Point of View ? What can we experience on overseas trips? 例 On overseas trips, we can experience different languages and cultures.

▲2年 pp.14-15 Unit 1

Unitの構成と配当時間 (8時間扱い)

評価①

評価②

構成	扉	Preview	Scene ①	Scene ②	Mini Activity	Read and Think①	Read and Think②	Unit Activity
時数		1		2	3	4・5	6・7	8

Point of View

「単元を貫く問い」を設定し、Read and Think②の最後にもう一度問いかけて、生徒が自身の考えの深まりを実感できるようにしています。

「3段階読み」で対応②

後半の「Read and Think」では「読む」ことが中心です。**概要から詳細の順に捉えていく**
文章の読み方を身につけるとともに、自分の考えを深め、表現する力を育成します。

3段階読みの流れ

Round 1

概要・大意をつかむ

- ・スキミング
- ・見出しつけ など

Round 2

詳細をおさえる

- ・スキミング
- ・英問英答 など

Round 3

表現につなげる

- ・要約
- ・自己表現 など

2年 Unit 1

タイプ：メール(旅行記)
 題材：シンガポール旅行

Read and Think ②

その日の夜、朝美は日本にいるメグにEメールを書きました。
 ? What does Asami feel about overseas trips?

New Words

- rode [rɒd] (= ride)
- scary [skə'ri]
- communicate [kə'mju:nikeɪt]
- culture(s) [kʌltʃə(r)]
- the Singapore Flyer [ðə sɪŋgə'pɔ: r fláɪər] シンガポールフライヤー
- Malay [mə'leɪ, mə'leɪ] マレー語
- Chinese [tʃaɪni:z] 中国語
- Tamil [tə'mɪl] タミル語

Hi, Meg.

Today we visited Merlion Park and rode the Ferris wheel. People call it the Singapore Flyer. It took us up to 165 meters. It was scary, but fun.

We went shopping, too. I found four different languages on Singapore money—Malay, Chinese, Tamil, and English. People in Singapore speak different languages. My uncle speaks Tamil and English, so I can communicate with him.

Overseas trips are very interesting. We can experience different languages and cultures.

Asami

People **call** it the Singapore Flyer.

Practice 例 People call it the Singapore Flyer.

朝美がシンガポール旅行の写真を見ながら、ジョシュと話しています。

① I / my aunt / Emi-obachan ② my uncle / her / Emiko ③ she / me / Asa-chan

自分のまわりの人の呼び名について、「私は…を〜と呼びます」という文を言い、ノートに書きましょう。

14 fourteen

▲2年 pp.14-15 Unit 1

Round 1 Get the Gist

朝美たちが訪れた順番になるように、()に番号を書きましょう。

the Singapore Flyer () shopping mall () Merlion Park ()

Round 2 Focus on the Details

本文の内容に合うように、()に適切な語を入れましょう。

① Did Asami enjoy the Singapore Flyer? — _____, she _____.

② What did she find on Singapore money? — She found _____ on it.

③ What languages does Asami's uncle speak? — He speaks _____ and _____.

Round 3 Think and Express Yourself

日本にいるメグは、朝美のEメールに返信しました。
 ()に適切な語を入れて、メグのEメールを完成しましょう。

Hi, Asami.

Thanks for your e-mail. You had a very good time in _____!

I want to ride the _____ with you someday.

And I also want to see Singapore _____.

People in Singapore _____ languages.

It sounds interesting!

I'd like to hear about your trip.

Bye for now,
 Meg

朝美の体験から、海外へ旅行するとどんな経験をすることができるのか考えよう。

Point of View

What can we experience on overseas trips?

例 On overseas trips, we can experience different languages and cultures.

15 fifteen

2年 Unit 1 の例

Round 1

写真を並べかえる

本文中の()の部分を
 見つけば答えられます。

Round 2

質問の答えを完成する

2年の最初は空所を
 埋める形式だから簡単!
 本文中の()の部分を
 見つけば答えられます。

Round 3

返信メールを完成する

Unitが進むにつれて、自分の考えや
 意見も言える・書けるようになります。

読んだことを「発表」や
 「やり取り」、「書く」こと
 につなげます。



さまざまな文章の
 タイプと題材に
 対応しています。

→ 本誌 pp.26-27

Read and Think ②

Many people think every country in Japan has its own special food. But do you know that it really came from the UK?

In the 19th century, special curry came to Japan from India. Curry was very popular in the UK. A British company produced curry powder for sale. The cooking of curry became easy.

In the 19th century, this curry arrived in Japan. Japanese didn't put in flour, and the curry became thick. They also used big pieces of potatoes, carrots, and corn. Then they put it on rice. This became the Japanese "curry rice".

I think about every year in Japan from India.

Practice 例 I like the curry because it is delicious.

2年 Unit 2

タイプ：本(時系列の説明文)
 題材：カレーの歴史

Read and Think ②

Do you like music?

We asked our classmate this question. We asked the "top" group. "What kind of music do you like?"

Please look at the graph. According to our research, ninety-five percent of our classmate like music. As for the kind of music, fifteen of our classmate like classical music the best. Nine of them like rock music the best, and sixteen like pop music the best. Five like other kinds, such as jazz, blues, country, or heavy metal.

As a result of our research, we found that classical music was the most popular in our class. However, more than half of the class like other kinds of music better than classical music. That was a big surprise to us.

I like classical music the best of all.

Practice 例 I like classical music because it is beautiful.

2年 Unit 6

タイプ：スピーチ(調査結果報告)
 題材：リサーチと発表の仕方

Read and Think ②

Some gorillas are also on the Red List. According to a study, the largest gorilla in the Congo may die out soon. There are many reasons, such as hunting, logging, and mining. Surprisingly, our electronic devices are one of these reasons.

To make these gorillas, we need some special gorillas. Some of these gorillas come from the gorilla habitat. If we use more devices, more of these gorillas may be destroyed. These gorillas may not survive. We have to understand this.

Why do we have to protect these gorillas? Each animal has its own role in the ecosystem. If we lose one species, it affects many others. Gorillas living are also part of this ecosystem. We are all related to each other. So it is important for us to take action now. Let's help the gorilla survive.

Practice 例 We should protect gorillas because they are important for the ecosystem.

3年 Unit 3

タイプ：学級新聞記事(意見文)
 題材：ゴリラの絶滅危機

Stage Activityでは、**テーマ別の自己表現活動**を通してここまでのUnitの学習で身についた力を確かめます。**4技能5領域を統合的に扱い**、「話す」「書く」活動で評価します。

一貫したCAN-DOリストに基づく全体構成の中で、Unitの学習を積み上げた先にあるのがStage Activityです。各学年3つのStage末にあるStage Activityでは、領域統合的なパフォーマンス活動を行い、そこまでの学習を確認することができます。

UnitからStage Activityへの流れ

例 3年 Stage 1

Unit 1 **Mini Activity**
経験についてやり取り  p.11

Unit 2 **Mini Activity**
ずっと続けていることについてやり取り  p.23

Unit Activity
相手から聞いた「○○歴」を発表  p.28

Unit 3 **Unit Activity**
情報を整理してまとめて書く  p.44

Stage Activity 1     
Stage Activity pp.48-50
部活動などをふり返って活動報告
(発表 ⇒ 書く・やり取り など ⇒ 発表)



Unitで学習したことを活用したスピーキングテストなど、パフォーマンス評価にも最適です。

「目的・場面・状況」を明示してモチベーションを高めます。

目的
場面
状況

Stage Activity 1 **My Activity Report** 

GOAL これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。

目的・場面・状況 部活動や委員会・係などの活動に一区切りがつく時期を迎え、活動報告をすることになりました。これまでの経験をふり返り、クラスメートや後輩へのメッセージも加えながら報告しましょう。

STEP 1  **活動報告を聞こう**
1 海斗とメグがそれぞれの活動報告をしています。発表を聞いて、わかったことをメモしましょう。

	Kaito	Meg
部活動、委員会・係		
したこと・経験		
みんなへのメッセージ		

これまでの経験を伝えるのにどんな表現を使っているかにも気をつけて聞こう。

STEP 2  **即興で活動報告をしよう**  p.28
1 STEP 1の表にならって、自分の部活動や委員会・係などの活動について報告したいことを考え、キーワードを書き出しましょう。p.51のWord Room 1も参考にしましょう。

部活動、委員会・係
したこと・経験
みんなへのメッセージ

2 グループになり、メモをもとに1人30秒程度で、即興で発表し合ひましょう。聞く人は、それぞれの発表後に、わかったことやもっと知りたいことなどを書きとめましょう。

まずは原稿を書かず、即興で伝えてみよう。

STEP 3  **活動報告の内容を見直そう**
1 STEP 2の活動報告について、自分が話した文を書き起こしましょう。

部活動、委員会・係
したこと・経験
みんなへのメッセージ

2 グループで、それぞれの活動報告について、(例)にならって質問やアドバイスを伝え合ひましょう。

例1 もっと知りたいことをたずねる場合

①  Tell me about your games next month.

We have the national tournament. They'll be our last games.

②  Wow! The national tournament!

Are you a starter?

Yes. I've been a starter since last spring.

③  What are you practicing the most?

I'm practicing my corner kicks.

例2 よりよくするためのアドバイスをする場合

④  I think you need a beginning and an ending.

Oh, that's right. Thank you.

あいつちを打ったり、さらに質問したりして、話を続けよう。

答えるときは、何か情報を加えよう。

だれかに言われたことを原稿に書きとめていこう。原稿を回して書き込んでもらってもいいね。

例

Need something here. (Meg)

I'm a member of the soccer team.

I've been practicing very hard. (Josh)

Practicing what?

Come to our games next month.

The national tournament? (Meg)

New Words

- report [rɪˈpɔːt]
- tournament [ˈtɔːrnəmənt]
- corner [ˈkɔːnər]
- beginning [bɪˈɡɪnɪŋ]
- ending [ˈendɪŋ]
- they'll [ðeɪl]
- they will

小学校の単語

- kick(s) [kɪk(s)]

▲3年 pp.48-49

STEP 2では即興で、最後のSTEP 4では原稿を推敲してから「発表」します。

重点領域活動
教科書紙面で赤枠で示されています。ここでは「発表」を重点的に扱います。


発表

Stage Activityの内容一覧

1年	1. 自己紹介のポスター作り 2. 好きな有名人についてやり取り 3. 思い出の行事のスピーチ 配当時間 各2時間	2年	1. 将来の自分への手紙 2. クラス内で調査して発表 3. 町のおすすめの場所の紹介 配当時間 各3~4時間	3年	1. 部活動・委員会活動の報告 2. 日本文化のパンフレット作り 3. ミニ・ディベートに挑戦 配当時間 各4時間
----	---	----	---	----	---

自由にアレンジして活動しやすい、定番のテーマを設定しています。



「話す[やり取り]」
「話す[発表]」
「書く」
の各領域を重点化した活動が学年に1つずつあります。

Stage Activity 1 

GOAL これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。

目的・場面・状況 部活動や委員会・係などの活動に一区切りがつく時期を迎え、活動報告をすることになりました。これまでの経験をふり返り、クラスメートや後輩へのメッセージも加えながら報告しましょう。

STEP 1  **活動報告を聞こう**
1 海斗とメグがそれぞれの活動報告をしています。発表を聞いて、わかったことをメモしましょう。

	Kaito	Meg
部活動、委員会・係		
したこと・経験		
みんなへのメッセージ		

これまでの経験を伝えるのにどんな表現を使っているかにも気をつけて聞こう。

STEP 2  **即興で活動報告をしよう**  p.28
1 STEP 1の表にならって、自分の部活動や委員会・係などの活動について報告したいことを考え、キーワードを書き出しましょう。p.51のWord Room 1も参考にしましょう。

部活動、委員会・係
したこと・経験
みんなへのメッセージ

2 グループになり、メモをもとに1人30秒程度で、即興で発表し合ひましょう。聞く人は、それぞれの発表後に、わかったことやもっと知りたいことなどを書きとめましょう。

まずは原稿を書かず、即興で伝えてみよう。

STEP 3  **活動報告の内容を見直そう**
1 STEP 2の活動報告について、自分が話した文を書き起こしましょう。

部活動、委員会・係
したこと・経験
みんなへのメッセージ

2 グループで、それぞれの活動報告について、(例)にならって質問やアドバイスを伝え合ひましょう。

例1 もっと知りたいことをたずねる場合

①  Tell me about your games next month.

We have the national tournament. They'll be our last games.

②  Wow! The national tournament!

Are you a starter?

Yes. I've been a starter since last spring.

③  What are you practicing the most?

I'm practicing my corner kicks.

例2 よりよくするためのアドバイスをする場合

④  I think you need a beginning and an ending.

Oh, that's right. Thank you.

あいつちを打ったり、さらに質問したりして、話を続けよう。

答えるときは、何か情報を加えよう。

例

Need something here. (Meg)

I'm a member of the soccer team.

I've been practicing very hard. (Josh)

Practicing what?

Come to our games next month.

The national tournament? (Meg)

New Words

- report [rɪˈpɔːt]
- tournament [ˈtɔːrnəmənt]
- corner [ˈkɔːnər]
- beginning [bɪˈɡɪnɪŋ]
- ending [ˈendɪŋ]
- they'll [ðeɪl]
- they will

小学校の単語

- kick(s) [kɪk(s)]

発表

STEP 4  **もう一度活動報告をしよう**
1 たがいの原稿を読み、アドバイスをしましょう。そして、原稿を見ずにメモだけを使って言えるように練習しましょう。

2 1・2年生でできていなかったポイントに特に気をつけて発表しましょう。

CHECK 最初に即興で行った活動報告と比べて、よくなったところをふり返ろう。

発表

Stage1 (pp.4-55) > これまでの学習をふり返ろう > 巻末口絵 CAN-DOリスト

50 fifty

▲3年 p.50

巻末のCAN-DOリストを使って評価します。

→ 本誌 p. 7

配当時間 各1時間



Let's Talk

即興的なやり取り



実生活に即した場面や状況に合わせて、即興的なやり取りを行います。
小学校で「話す」活動を続けてきたことを生かし、中学校でも「間違いをおそれずに」
まず言うことから始めましょう。

1 まず言うしてみる

学習したことを使いながら、イラストの場面や状況に合った表現を即興的に考えます。

2 モデルを確認する

その場面で使える典型的な表現を、モデル対話を通して学習します。

3 アレンジする

設定を変えてアレンジする活動を通して、状況に合ったやり取りの仕方や相手意識を身につけます。

1年	①お願い ②体調 ③道案内 ④レストラン
2年	①ホテルでのトラブル ②ていねいなお願い ③電車の乗りかえ ④買い物 ⑤電話でのやり取り
3年	①はじめての出会い ②町中での手助け ③食品の選択

場面、話題、スキルなどの観点から系統を意識した配列です。

Let's Talk 2

体調 — 説明する・指示する —

CAN-DO 相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができます。

STEP 1 ある日の英語の授業で、元気がなさそうなメガに戸田先生が声をかけます。メガの返事をイラストから想像しましょう。

Meg, how are you today?

STEP 2 場面を想像しながら、ペアで次の対話を練習しましょう。

Mr. Toda: Meg, how are you today?
Meg: Not very good.
Mr. Toda: What's wrong?
Meg: I have a headache.
Mr. Toda: That's too bad. Go to the nurse's office, and take a rest for an hour.
Meg: Thank you, Mr. Toda.

STEP 3 STEP 2やTool Boxを参考に、次の症状とイラストに合わせてペアで対話をしましょう。

1 stomachache 2 fever 3 toothache

Tool Box

- 症状(体調)の程度を言う方
(I feel) terrible. ひどいのです。
So-so. まあまあです。
- 症状のたずね方
What's the matter? どうしましたか。
- 症状の言い方
I have a pain here. (痛いところを指して)ここが痛いのです。
I have a sore throat [runny nose]. のどが痛い/鼻水が出ます。
My leg hurts. 脚が痛いのです。
I feel sick. 気分が悪いのです。
- 指示する言い方
Go home and rest. 家へ帰って休みなさい。
Go to the doctor [dentist]. 医者(歯科医)へ行きなさい。
Take this medicine. この薬を飲みなさい。

New Words

- wrong
- headache
- bad
- rest
- hour
- stomachache
- fever
- toothache
- What's wrong?
- That's too bad.
- take a rest

小学校の単語

- nurse's office
- nose
- leg
- doctor
- dentist

Today's Point What's wrong? — I have a headache.

74 seventy-four

▲1年 p.74

目的
場面
状況

Let'sシリーズには、Talk, Write, Listen, Readの4種類があります。各技能領域に特化した活動を行い、目的・場面・状況に合わせたコミュニケーション能力を伸ばします。

Let's Talk
以外でも!

小学校からつなげる新領域の『やり取り』

新学習指導要領のポイントとなる新領域「話すこと[やり取り]」は、Let's Talk以外のパートでも手厚く扱い、小学校から高校へと段階的・系統的に力をつけられるようにしています。

1 質問して答える

1年 Unit 1~Unit 5のEnjoy Communicationでは、小学校でやってきた簡単なやり取りをふり返ります。

→本誌p.8

Enjoy Communication

あなたがまだ知らない特技を持っているクラスメートがいるかもしれません。次のことができかどうか教室内をたずねて回り、Yes, I can. と答えた人の名前を()に書きましょう。

例 A: Can you cook curry? B: Yes, I can. [No, I can't.]

cook curry play the piano run fast ski swim

▲1年 p.16



教師用指導書に付したQRコードから、小学校の活動が動画で見られます。

3 場面に合わせて対話する

主に2・3年の対話文には、Plus Oneで即興的に対話する活動を設定しています。

Plus One

海斗がウィルソンさんに迎えにきてくれるように電話しています。2人の対話を考えましょう。

Scene 2

ホームステイ先で海斗がウィルソンさんと話しています。

What are the Wilson family's house rules?

Kaito: Are there any house rules?
Mrs. Wilson: Yes. You must come home by six.
Kaito: Six o'clock? Isn't that a little early?
Mrs. Wilson: Well, we have dinner at six.
Kaito: I see.
Mrs. Wilson: And if you have a special plan later in the evening, you must not go out alone.
Kaito: Oh... Isn't it safe in the evening?
Mrs. Wilson: No, not for young boys and girls. I'll take you there and pick you up.
Kaito: OK. I understand. (60 words)

Words

- must [mʌst]
- at [ət]
- not [nɒt]

Plus One

海斗がウィルソンさんに迎えにきてくれるように電話しています。2人の対話を考えましょう。

▲2年 p.60

2 対話を続ける

1年のSmall Talk!では、Unitの進度に合わせたテーマ設定で、即興的に対話を続ける練習をします。

Small Talk! 1

1~16の話題について、ペアで話し合ってみよう。

例 A: Do you like sports?
B: Yes, I do. I like baseball.
A: Me too. What's your favorite team?
B: It's the Tigers. My favorite player is...
A: Really? Who is he?
B: He's a pitcher. He's very strong.

1 Do you like sports? 2 Can you cook? 3 What's your favorite subject? 4 Who is your hero?
5 What's your favorite place in our town? 6 When is your birthday? 7 How do you come to school? 8 What do you usually have for breakfast?
9 How many books do you have? 10 What time do you usually get home? 11 What food do you like? 12 Do you like singing?
13 What do you want to eat now? 14 Which do you want, a dog or a cat? 15 (13の答えがyesなら) Does he/she play any sports? 16 Do you have any brothers or sisters?

Let's Have a Mini Debate

●お題を2つ
例: I see / Uh-huh / OK.
●お題を2つ
例: Really? / Wow! / Cool / Is that so?
●お題を2つ
例: Me too / Oh, yes / I think so, too.
●お題を2つ
例: Good! / That's great! / Sounds great! / That's too bad! / How sad!

▲1年 p.56

4 論理的に議論する

3年最後のStage Activityでは、やり取りの集大成として、「日本は住むのによい国か」というテーマでディベートを行います。

▼3年 p.102, 104

Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate

GOAL 主張とその理由を明確にしなが、ディベートをすることができます。

STEP 3 ディベートをしよう

審判と司会を決めて、例)にならって実際にディベートをしましょう。

例 司会 Let's start a mini debate. Today's topic is "Japan is a good country to live in." First, we'll hear from people who agree.

賛成側 We think that Japan is a good country to live in. We have two reasons. First, ... Second, ...

反対側 Thank you. Next, we'll hear from people who disagree.

賛成側 We don't think that Japan is a good country to live in because ...

司会 Thank you. (作戦タイム)

Let's move on to questions and answers.

People who disagree, please ask your questions first.

反対側 They said that ..., but don't you think ...?

賛成側 You may be right, but we think ...

司会 Thank you. Then, people who agree, please.

賛成側 The things they said are How about ...?

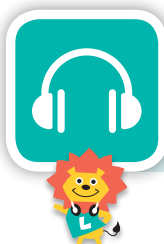
反対側 I see what you mean, but ...

司会 Thank you very much. Now, judges, please announce the decision.

審判 People who agree made better points.

相手の主張を受けとめて

配当時間 各1時間

Listening Lion
リスニング ライオン

Let's Listen

バラエティ豊かな聞き取り

リアルな場面の聞き取りの活動です。身近な対話から社会的な話題まで段階的に取り上げます。

目的
場面
状況聞く前に目的意識を明確にし、
自分ごととしてイメージをふ
くらませます。Unit 4で防災を
扱う前に、災害
情報を聞きます。

Let's Listen 3
ラジオの災害情報

CAN-DO 災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。

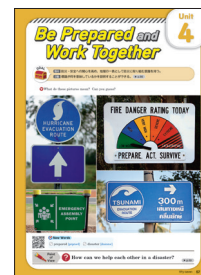
**目的
場面
状況** 自然災害はいつでも起こるかわかりません。夏休みのホームステイ先で、ハリケーン(hurricane)が近づいてきました。どう行動すればよいのか、ラジオの災害情報を聞きましょう。

Before You Listen 台風が近づいているときは、どんなことに気をつけますか。クラスメートと話し合ってみよう。

STEP 1 指示の概要を聞こう
ラジオの災害情報を聞いて、内容に合う指示を次の①～③から全て選びましょう。

① Turn off the electricity. ② Fill your bathtub with water. ③ Check the situation outside.

▲3年 p.56



▲3年 p.57

1年	①留学生のプロフィール ②欠席した友達への電話連絡 ③ラジオDJのトーク
2年	①機内放送 ②インタビュー ③天気予報 ④留守番電話 ⑤商品のコマーシャル ⑥店内のアナウンス
3年	①ディスカッション ②講演 ③ラジオの災害情報 ④テレビの国際ニュース ⑤世界で働く人へのインタビュー ⑥中学校生活の思い出

配当時間 各1時間

Writing Whale
ライティング ホエール

Let's Write

適切な形式で書く活動

目的や場面に合わせて書く力をつける活動です。
日常的な短めの文章から聞いたり読んだりした
ことに対する意見文などまで扱います。目的
場面
状況絵はがき⇒お礼状⇒ファンレターの
ように、目的に合わせた文章形式を
段階的に扱っています。Unit 4でホームステイ
に行った流れを受けて、
お礼状を書きます。

▲2年 p.57

Let's Write 2
ホームステイのお礼状 一紙

CAN-DO お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。

アメリカからの帰国後、海斗はホームステイ先でお世話になったウィルソンさんにお礼の手紙を書くことにしました。

STEP 1 海斗がくれた手紙にはどんなことが書かれていますか。

日付 August 28, 2022

はじめのあいさつ Dear Mr. and Mrs. Wilson,

導入 How are you? I am back in Japan now.

内容 Thank you for a wonderful homestay. Staying with you was a great experience. I especially enjoyed playing word games with you. I study English every day, and sometimes I use the words from our games.

まとめ(結び) I look forward to seeing you again someday.

Best wishes, Kaito.

STEP 2 感謝の気持ちを伝えたい相手に手紙を書きましょう。はじめに書く内容とその順番を考え、英語でメモしましょう。

導入 例 相手: Mr. and Mrs. Wilson
in Japan now

内容
・ thanks
・ word games
・ study English
・ see you again

まとめ(結び)

文章構成を意識させるため、
モデル文には赤(導入)、黄
(内容)、青(まとめ)の色を
つけています。

▲2年 p.67

配当時間 各2～5時間

Reading Raccoon
リーディング ラクーン

Let's Read

目的に合わせた読む活動

Unitで学んだ「読む」スキルを活かして、
さらに長い文章を読みます。さまざま
なタイプの文章をスパイラルに扱うこ
とで、高校に向けた読解力を確実に育
てます。例 非連続型テキストと合わせて
必要な情報や要点を読み取る活動

Let's Climb Mt. Fuji

CAN-DO 図や表などの情報を参考に、書き手の
考えを読み取ることができる。

New Words
① climb ② plan ③ stay ④ interested ⑤ probably ⑥ anyway ⑦ tired ⑧ choose ⑨ break ⑩ trail ⑪ station ⑫ summit ⑬ trail ⑭ trail ⑮ trail ⑯ trail ⑰ trail ⑱ trail ⑲ trail ⑳ trail ㉑ trail ㉒ trail ㉓ trail ㉔ trail ㉕ trail ㉖ trail ㉗ trail ㉘ trail ㉙ trail ㉚ trail ㉛ trail ㉜ trail ㉝ trail ㉞ trail ㉟ trail ㊱ trail ㊲ trail ㊳ trail ㊴ trail ㊵ trail ㊶ trail ㊷ trail ㊸ trail ㊹ trail ㊺ trail ㊻ trail ㊼ trail ㊽ trail ㊾ trail ㊿ trail

次は、山田先生と友人のボブのメッセージのやり取りです。
アメリカ在住のボブは、次の夏に向けて何か計画しているようです。

Hi, Koichi. Guess what! I'm planning a summer trip to Japan. Can we meet? I want to climb Mt. Fuji, stay in a mountain hut, and see the sunrise. Are you interested? (32 words)

Hi, Bob. Yes, I want to climb Mt. Fuji, too. Here are the details of the four trails on Mt. Fuji. Climbers usually go to the fifth stations by bus, then go up on foot. Which trail do you want to take? (42 words)

	Yoshida Trail	Subashiri Trail	Gorokoshi Trail	Fujinomiya Trail
Round-trip Distance	16 km	13 km	19 km	9 km
Time	Ascent 6 hours Descent 4 hours	Ascent 6 hours Descent 3 hours	Ascent 7 hours Descent 3 hours	Ascent 5 hours Descent 3 hours
Number of Climbers (Summer, 2017)	172,657 people	23,475 people	18,411 people	70,319 people
Number of Mountain Huts (Ascent only) *Numbers may change	18	12	4	8

Notes: round-trip distance 往復距離 ascent 上り descent 下り may change 変更する可能性があります

98 ninety-eight

▲1年 pp.98-99

エネルギー問題に
ついて意見を述べ
るために読みます。

Power Your Future

CAN-DO エネルギーに関する説明文を読んで、概要を理解し、
自分の考えや意見を述べるができる。

Pre-reading What does "power" in this title mean?

New Words
① electricity ② energy ③ power ④ renewable ⑤ fossil ⑥ nuclear ⑦ waste ⑧ radiation ⑨ handle ⑩ waste ⑪ waste ⑫ waste ⑬ waste ⑭ waste ⑮ waste ⑯ waste ⑰ waste ⑱ waste ㉑ waste ㉒ waste ㉓ waste ㉔ waste ㉕ waste ㉖ waste ㉗ waste ㉘ waste ㉙ waste ㉚ waste ㉛ waste ㉜ waste ㉝ waste ㉞ waste ㉟ waste ㊱ waste ㊲ waste ㊳ waste ㊴ waste ㊵ waste ㊶ waste ㊷ waste ㊸ waste ㊹ waste ㊺ waste ㊻ waste ㊼ waste ㊽ waste ㊾ waste ㊿ waste

1 If the electricity were cut for one week, what would happen to our lives? The lights would be off. Trains would stop. We could not charge our smartphones. We depend on electricity to power most of our daily activities. How can we make the electricity we need for our future?

2 Japan uses a lot of oil, coal, and natural gas to make electricity. These resources are called "fossil fuels." Fossil fuels have some good points. They are relatively cheap, and they can be used for many things. However, scientists say that we may run out of fossil fuels in 100 years. There are other problems, too. Fossil fuels release carbon dioxide and other dangerous chemicals. They increase global warming and damage our health. (123 words)

In-reading What do we depend on to power our daily activities?
What do fossil fuels release?

日本の一次エネルギー資源の割合
Other renewable energy, etc. 1.1%
Nuclear 9.8%
Coal 25.4%
Natural gas 14.1%
Oil 41.6%
Renewable 8.5%
Water power 0.3%

世界のエネルギー資源の採掘率と埋蔵可能採掘量
石油 61% 天然ガス 63% 石炭 153%

3 Japan also makes electricity from nuclear power. Nuclear power produces a large amount of energy without releasing carbon dioxide. However, it is difficult to control radiation and handle nuclear waste safely all the time.

4 Now many countries are using sunshine, wind, steam, rivers, and even ocean waves to make electricity. These are examples of "renewable energy." Japan has many rivers, and their power is used to produce electricity. Their water is renewable and does not release dangerous chemicals. However, we need dams to use water power, and these dams can damage the environment.

5 Research in other renewable energy technologies is progressing. Already, Denmark gets forty percent of its electricity from wind power. One quarter of the electricity used in Iceland comes from the natural heat in the ground. People around the world are working to solve our energy problems. (129 words)

New Words
① abundant ② energy ③ power ④ renewable ⑤ fossil ⑥ nuclear ⑦ waste ⑧ radiation ⑨ handle ⑩ waste ⑪ waste ⑫ waste ⑬ waste ⑭ waste ⑮ waste ⑯ waste ⑰ waste ⑱ waste ㉑ waste ㉒ waste ㉓ waste ㉔ waste ㉕ waste ㉖ waste ㉗ waste ㉘ waste ㉙ waste ㉚ waste ㉛ waste ㉜ waste ㉝ waste ㉞ waste ㉟ waste ㊱ waste ㊲ waste ㊳ waste ㊴ waste ㊵ waste ㊶ waste ㊷ waste ㊸ waste ㊹ waste ㊺ waste ㊻ waste ㊼ waste ㊽ waste ㊾ waste ㊿ waste

6 What are examples of "renewable energy"?
What do Denmark and Iceland use to get their electricity?

▲3年 pp.106-107

学び方コーナーでは、生涯にわたり学び続けるための基盤を作ります。語彙、音声、表現、文章の4種のテーマから学習に役立つコツを系統的に紹介し、生徒の学びを支えます。



語彙

音声

表現

文章

配当時間
各1時間

3年

接頭・接尾辞や類義語などを意識して単語を増やす

例 「語彙」に関する学年間の系統性

2年

音・つづり・意味から単語を覚える

1年

辞書で単語を調べる

小学校

音で単語に触れる



▲1年 p.9

▲2年 p.33

▲3年 p.6

学年	内容	テーマ	ねらい
1年	1 辞書の使い方①	語彙	語彙を広げるための辞書の基本的な使い方
	2 単語のつづりと発音①	音声	知らない単語でも読み方を推測しやすくなるライム(韻)の知識
	3 辞書の使い方②	語彙	同じつづりでも複数の意味を持つ単語の調べ方
	4 単語のつづりと発音②	音声	日本と英語の子音の発音のちがいの知識
2年	1 単語の覚え方	語彙	語彙を定着させるための単語の効果的な覚え方
	2 音読の仕方	音声・文章	聞き手に伝わる音読の仕方のコツ
	3 意見の述べ方	表現	相手の意見に賛成したり反対したりするときに役立つ表現
3年	1 語い・表現の増やし方	語彙・表現	コミュニケーションをさらに楽しむための語彙の増やし方
	2 文章の組み立て方	文章	読み手に伝わる、英語らしいパラグラフ構成の知識
	3 これからの英語学習法	全般	生涯役立つ英語の学習法

Grammar for Communicationでは、丁寧に文法を解説し、何度でも見直して自学自習できるようにしています。自習により文法理解が進めば、授業ではコミュニケーション活動など学校でしかできないことに時間を使うことができます。

配当時間
1~2時間

●つまづきへの配慮

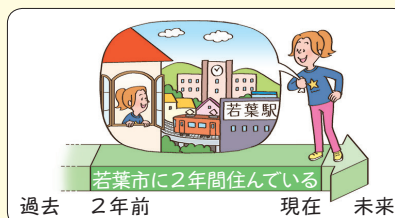
生徒が用法を混同しがちな文法については、見開きで対比的に扱うことで、ちがいを意識して学習できるようにしました。

例 be動詞と一般動詞

文法の概念を理解するための豊富な図解

I **play** soccer.

▲動詞の用法の説明



▲現在完了形(継続)の説明(3年 p.30)

Use

日本語や既習事項と対比して整理

Form

文構造を色と形で区別して視覚的に解説

Let's Try!

場面や文脈のある確認問題

Grammar for Communication be動詞と一般動詞

1 be動詞

Use 使い方

I am Ken. 私は[名]です。

I am a baseball fan. 私は[野球ファン]です。

上の□の部分は、全てI(私)についての情報で、つまりI = □(私は□です)の関係になります。このように、主語とそれを説明する語句をつなぐ動詞を、be動詞といいます。

Form 形

be動詞は、主語によって次のように形が変わります。

	主語	be動詞の形
	I	am
	you, 複数の人やもの(we, A and B など)	are
	he, she, it, 人の名前など	is

文の作り方のちがいを確認しよう

(be動詞)

	主語(S)	動詞(V)	補語(C)
A 肯定文	You	are	Ken.
B 否定文	You	are not	Ken.
C 疑問文	Are you	are	Ken?

Let's Try! 使ってみよう

ティム(Tim)が履の持ち物についてたずねています。適切な語を書きましょう。

Tim: Is this your bag?	Ken: Yes, it is.
Tim: Is this your bag?	Ken: No, it is not.
Tim: Is this your bag?	Ken: Yes, it is.
Tim: Is this your bag?	Ken: No, it is not.

▲1年 pp.26-27

文法は「コミュニケーションを支えるもの」なので、必ず「場面・文脈」を意識した確認問題(Let's Try!)を用意しています。



※ NEW は、新たに高校からおりてきた言語材料。

学年	内容	配当時間
2年	1 5つの文構造	1
	2 接続詞	1
	3 不定詞	1
	4 助動詞	1
	5 比較表現	2
	6 受け身	1

学年	内容	配当時間
3年	1 現在完了形と現在完了進行形 NEW	2
	2 不定詞	1
	3 後置修飾	2
	4 仮定法 NEW	1

変わる入試やテストに対応

●読む力を段階的に育成

分量増への対応

全国学力調査では200語弱、高校入試では、**300～700語程度の長文読解問題**が出題されています。新学習指導要領による**指導語数増加**も踏まえ、長文を段階的に豊富に取り入れました。

	Unit(Read and Think)	Let's Read	Optional Reading	名作鑑賞
1年	—	130～230語程度	210～270語程度	—
2年	80～120語程度	300～400語程度	90～140語程度	330語程度
3年	100～300語程度	400～500語程度	270～590語程度	470語程度

本編のUnit, Let's Readでは、段階的に分量を増やしています。



多彩な文章形式

定番のスピーチや対話文から物語、伝記、非連続型テキストを読み取るものまで、さまざまな文章を扱っています。文章のタイプによって課題を変えながら、3段階読みで読む力を着実に育てます。

歴史を時系列に整理する

見たい演目を選んで伝える

好きな店のレビューを書く

→ 本誌pp.12-15, p.21参照

▲2年 pp.52-53

▲2年 pp.128-129

▲2年 p.130

時代を映した題材

近年の**入試頻出の題材・テーマ**を、切り口を変えながら、教科書の中で繰り返し取り上げています。

国際協力の仕事・ボランティア



1年 Unit 9など

科学技術・AI



2年 Unit 3など

訪日外国人の増加



3年 Unit 4など

環境・エネルギー問題



3年 Let's Read 2など

読む分量は、段階的に増やしています。また、リーディング教材や新しいタイプの課題が充実し、新傾向の高校入試や全国学力調査にも対応できます。

●求められる力の変化に対応

目的・場面・状況

単純な代入や和文英訳などではない、設定や文脈のある課題への対応力が求められています。

1年 p.27 Grammar for Communication 1

Let's Try! 使ってみよう

サリー(Sally)と健がペット(pet)について話しています。に適切な語を書きましょう。

① you have a pet?

Yes, I ② . I have a dog. She's so cute.

Nice! I ③ have a pet, but I want a cat.

文法のまとめGrammar for Communicationにも文脈のある練習を設けています。

全国学力調査 書くこと⑨(2)② | 正答率 29.8% |

(2) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、それぞれ会話が成り立つように英語を完成させなさい。

② <休み明けに教室で>

A: Was your vacation good?

B: Yes. My family and I went to Australia.
(stay) there for two weeks.

A: Wow! Wonderful.

思考力・判断力・表現力

自分の意見を考え、相手に伝わるように的確に表現することが求められています。

3年 p.45 Let's Write 2 / p.66 Unit 4 Unit Activity

STEP 2

次のテーマに対し、賛成か反対かを決め、それぞれの理由を④～⑥から選びましょう。

テーマ We need laws for electronic device use on the street.

☐ 賛成 ☐ 反対 → 理由()

- ④ Being safe is more important than texting.
- ⑤ We can make our own decisions.
- ⑥ The police should work on more imp
- ⑦ Making a law is the most effective w

自分の意見とその理由を考え、表現する活動が豊富です。

STEP 1 図記号の意味を確認しよう

次の4つの図記号の意味を考えて選び、例) にならってクラスメートと対話をして確認しましょう。

例) ①() ②() ③()

図やイラストの内容を的確に描写・表現する力をつけます。

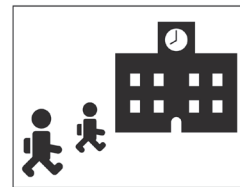
全国学力調査 書くこと⑩ | 正答率 1.9% |

10 海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で表しなさい。

【A】



【B】



スピーキング

全国学力調査に「話すこと」の問題が加わり、大学入試も今後、4技能化されます。

2年 p.24ほか Plus One

Asami: There's a good curry restaurant near my house.

Josh: Really? I want to go there sometime.

Asami: Meg and Kaito will go there this Sunday. If you have time, we can go with them.

Josh: Great! I want to eat curry pilaf.

Asami: Sounds good. You know, curry and rice originally came to Japan from overseas.

Josh: From India, right?

Asami: Well, you're half right.

Josh: What do you mean?

Asami: Read this book if you're interested in the other half.

Plus One

最後の朝美の発言に対して、ジョシュになったつもりで自由にコメントを考えましょう。

例) Wow. I want to read the book.

3年間を通して、即興的に対話を続けるための課題を用意しています。

全国学力調査 話すこと② | 正答率 10.5% |

アラン先生が見せている写真

A: This is my favorite picture.
Y: Nice! Who is she?
A: Oh, she is my mother, Nancy. And he is my brother, Tom. He can cook very well.
Y: I see. What kind of work does your mother do?
A: She is a teacher.

アラン先生が見せている写真

A: Do you have any other questions about them?
(解答時間 20 秒)

豊かな心を育む多様な題材

題材紹介① 地球市民としての心を育む

SDGsとは、2015年国連サミットで採択された17の目標です。2016年から2030年までに、今の世代の人も将来の世代の人も幸せに暮らしていける「持続可能な世界」の実現を目指します。



SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1年 Unit 9 **Think Globally, Act Locally**
世界の水問題



ケニア

2年 Unit 3 **My Future Job**
AIの進化による、仕事や社会の変化



2年 Unit 5 **Universal Design**
だれもが住みやすい社会を目指すUD



→ 技術・家庭

2年 Let's Read 3 **Pictures and Our Beautiful Planet**
写真家、星野さんが伝えた環境の大切さ



アメリカ(アラスカ)

3年 Unit 1 **Sports for Everyone**
障がい者スポーツを支える用具の技術開発



3年 Unit 3 **Animals on the Red List**
絶滅の危機にひんする動物たち



佐渡・コンゴ

3年 Let's Read 1 **A Mother's Lullaby**
広島に原爆が落とされた日の物語



広島・アメリカ

3年 Unit 6 **Beyond Borders**
ランドセルの寄付など、国際支援の取り組み



アフガニスタン

3年 Let's Read 2 **Power Your Future**
世界のエネルギー資源の実態



理科

今日的課題や、生徒の知的好奇心を喚起する題材を取りそろえました。
英語を学ぶとともに視野を広げ、積極的に世界とつながろうとする心を育むことができます。

題材紹介② 日本の伝統・文化を見つめ直す

1年 Unit 7 **Foreign Artists in Japan**
日本の伝統工芸や芸能の分野で活躍する外国人



2年 Unit 7 **World Heritage Sites** オーストラリア・イタリアなど
世界遺産の特徴や、その特別な価値



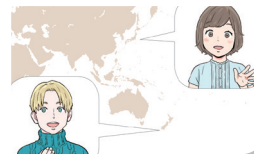
3年 Unit 2 **Haiku in English**
海外でも愛される俳句の魅力



→ 国語

題材紹介③ 異文化や国際社会について知る

1年 Unit 4 **Friends in New Zealand** ニュージーランド
外国の中学生の学校生活



2年 Unit 1 **A Trip to Singapore** シンガポール
海外旅行を通じた、異文化理解



2年 Unit 4 **Homestay in the United States** アメリカ
ホームステイでのよくなるトラブルや楽しさ



題材紹介④ 今日的課題(道徳、人権、道徳、防災・安全など)に向き合う

2年 Let's Read 2 **A Glass of Milk**
少年から女性への恩返し物語



3年 Unit 5 **A Legacy of Peace** インド
ガンディーによる人権確立への取り組み



→ 社会

3年 Unit 4 **Be Prepared and Work Together**
地域の一人としての防災への取り組み



CLIL (Content and Language Integrated Learning) を充実

CLILとは、内容の学習と言語学習を統合したアプローチです。他教科で学んだことを英語の視点で学ぶコーナー、Learning "... in English"を設けました。

学年	関連教科・分野	内容	配当時間
1年	国語	物語の山場	
2年	技術・家庭(家庭)	食品表示	各1時間
2年	技術・家庭(技術)	情報技術の進歩	
3年	理科	食物連鎖	各2時間
3年	社会(公民)	18歳選挙権	



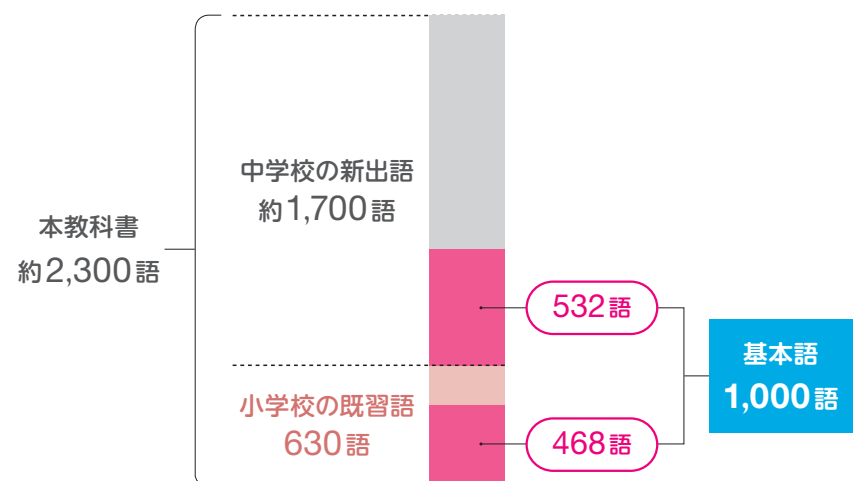
Dマークのある箇所には、関連する他教科の教科書紙面PDFをご用意しています。

語彙の扱い・時数への配慮

●新課程の語彙への対応

増加した
語彙への配慮

新学習指導要領では、小学校で扱った600～700語に1,600～1,800語を加えた語を扱うように示されています。本教科書では小学校の既習語として630語を選び、中学校の新出語を約1,700語とし、合計約2,300語を取り上げています。



Point 1 1,000語を基本語として厳選。これらがしっかり身につけば、中学生として十分に豊かなコミュニケーションを行うことができます。

Point 2 中学校の新出語は本文から取り上げています。授業で扱う本文で取り上げることが効果的と考えられます。

Point 3 語彙の学習をサポートする教材やワークシートを発行予定。生徒の自学自習を支えます。

→資料②「指導書資料」p.④

語句欄の見方

単語の扱いがわかりやすいように、次のような区分を設けて示しています。

☒ New Words

☒ front

☒ nervous

☒ worry

☒ yourself

☒ David デイビッド[名]

☒ Green グリーン[姓]

☒ enjoy yourself

☒ how's ← how is

☒ listen

① 基本語

② 準基本語

③ 題材語
(訳つき/なし)

連語

短縮形

小学校の単語

基本語は太字にしています。話したり書いたりして発信できる程度にまで定着させたい語です。CEFR-JのA1レベルや、従来多くの中学校教科書で取り上げられていた語などから選定しています。

既習語扱いですが、登場する箇所には囲みで明示しています。

2,300語全てを定着させる必要はありません。各単語の重要度や生徒の学習段階に合わせて軽重をつけて指導したいですね。また、生徒によって、発信に使う語が異なることから留意しましょう。



●各学期の配当時数

週4時間(年間140時間)の中で、余裕をもって授業を進められるように配当しました。

	3学期制			2学期制		合計
	1学期	2学期	3学期	前期	後期	
1年	41	39	23	51	52	103
2年	45	42	21	58	50	108
3年	46	44	9	59	40	99

特別支援への対応

●文字学習の負担軽減 >> 新4線とユニバーサル書体の採用

文字の書きやすさに配慮して、第2線と第3線の間の幅をやや広げました。また、文字習得に負担がないよう、より手書き文字に近い書体を開発しました。主に1年の全編で使用しています。

新書体

a tennis player

従来の書体

a tennis player

小文字の多くは第2線と第3線の間に書き込むため、やや広くと書きやすくなります。

abcd

入力すると4線が自動で表示されるフォントが指導書DVDに入っています。実線タイプとなぞり書きタイプの2種類があります。



●時間数への配慮 >> A4判化によるページ数の据え置き

先生方のお声

時数変更がないのに、ページ数が増えるのは負担だなあ。

語彙数は倍増しているし、小英が教科になったから、本文も増えますよね。

イラストや写真がないと、スローラーがほんとうに困るよ。

A4判化!

本編のページ数は現行と同等。

小英の教科化の影響で増えた本文と、イラスト・写真・図などを配置する余地の確保。

●用紙の変更 >> 読みやすさを優先

- 特別支援の専門家のご意見により、現行よりも白色度をおさえ、目にやさしいナチュラルな色の用紙を採用しました。同色の従来品に比べて軽量化を図り、重さに配慮しています。
- 色覚特性の専門家による校閲を受け、カラーユニバーサルデザインの観点から配色およびデザインの検証を行いました。

●拡大教科書の発行

拡大教科書を発行し、全ての生徒に教育の機会均等を保障します。(A4サイズ・26ポイントを予定。)

QRコードで学習をサポート

→本誌p.30

- 教科書のQRコードからは、本文や単語の音声を聞くことができます。家庭学習にも役立ちます。



QRコードは3年間で約200箇所あります。

- マークからは、内容に関連した映像などを見ることができます。

Task 2 食物連鎖について説明しよう

1 動物や植物の「食べる」「食べられる」関係を表したのが食物連鎖(food chain)です。下の□□から適切なものを選んで①～④に入れて、食物連鎖を完成させよう。

eagles (ワシ)

earthworms (ミミズ)

frogs (カエル)

snakes (ヘビ)

①

②

③

④

fallen leaves (落ち葉)

grasses and nuts (草や木の实)

rabbits (ウサギ)

2 それぞれの矢印の「食べる」「食べられる」関係を説明しよう。

例 Rabbits eat grasses and nuts. / Grasses and nuts are eaten by rabbits. / Rabbits depend on grasses and nuts for their survival.

学習者用

●学習者用デジタル教科書

文部科学省は、2019年末に「GIGAスクール構想」を打ち出し、ハード・ソフト・指導体制一体でのICT教育の充実を推進しています。東京書籍は、令和3年度用中学校教科書の全発行書目において「学習者用デジタル教科書」を発行します。

メリット1

複数教科を一括管理

「Lentrance Reader」ビューアを用いており、さまざまな教科・教材を一括管理できます。

メリット2

学習を支える便利な機能

ペンツールによる書き込みやウェブ上のリンクの貼りつけができます。学習記録として保存することもできます。

メリット3

特別支援教育への対応

- 文字の色や大きさ、行間などの調整
- 写真や図版などを拡大
- 日本語を読み上げ
- 総ルビ・分かち書き

QRコンテンツ

デジタル教科書の画面上のQRコードをクリックするだけで、音声やアニメーションなど、リンクするコンテンツを呼び出せます。



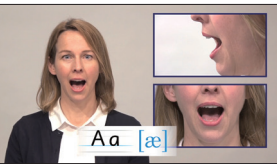
1年 p.58 Preview ▶

生徒個人の学びに合わせて音声の再生方法をさまざまに設定したり、動画を視聴したりできる「学習者用デジタル教材(デジタル教科書+教材一体型)」も発行予定です。

Dマーク

同様に、画面上のDマークをクリックすると、連携するデジタルコンテンツを簡単に呼び出すことができます。

Dマークコンテンツの例



▲発音の仕方(動画)



▲本文題材に関連する情報(ウェブサイト)

デジタルに関する次のサービスや、その他の4技能に対応したコンテンツの提供を予定しています。

発音チェックシステム

教科書の本文や単語を発音すると、AIが即座にチェックし、どの音の発音をさらに練習すればよいかを示します。

ALT Online(仮称)

教科書の活動をもとにパフォーマンステストを行う際、海外の講師が生徒のスピーチなどを聞いて、内容について質問したり、表現方法をアドバイスしたりします。

●学習者用準拠教材

1 生徒用リスニングCD	本文、語句などの音声を収録。音声は、ダウンロードやアプリでの提供に対応します。
2 生徒用DVD	本文内容を実写で映像化。字幕は日本語と英語、または字幕なしに切り替え可能。
3 生徒用文法学習DVD	Key Sentenceの文法事項をアニメーションで解説。
4 基礎の確認	Key Sentenceの理解・定着を図る問題集。単語学習のためのアプリが付録になります。
5 学習ノート	授業での板書書き取りや自学自習に使えるノート。
6 文型ドリル	文法事項の定着を図る新書サイズのドリル。重要部を赤字にし、その箇所が隠せる赤シートがついています。文法習得のためのアプリが付録になります。
7 Let's Read and Write	小学校の音の素地を中学校の文字学習につなげるためのワークブック。小学校の教材の続編です。
8 辞典(英和／和英／英和・和英)	新学習指導要領対応。中学校レベルの語彙、語義、成句を豊富に収録。

学びや指導を支援するために、これまで以上にラインナップを充実させます。
生徒用のデジタル教科書が新たに登場し、指導者用もさらに内容が充実します。



※以下の商品は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

指導者用

●指導者用デジタルブック →資料②「指導書資料」p.⑧

電子黒板を使用した指導に最適な提示型教材です。多様なコンテンツを収録しており、教科書上の写真や図版、アイコンなどをクリックするだけの簡単な操作で利用できます。また、教科書の素材や関連するコンテンツを使ってオリジナル教材を作成できる「MY教科書エディタ」機能も搭載しています。

指導者用デジタルブックは、教師用指導書(本ページ下参照)に同梱して提供されます。



音声再生

- 再生方法(連続／選択／役割)、再生速度可変、ポーズ秒数設定など
- カラオケ表示(音声に合わせてテキストがハイライト)
- チャンク単位の音声再生

フラッシュカード

「New Words」と「小学校の単語」を収録。提示するカードのセットを事前に作成・保存し、授業で活用することもできます。

小中接続コンテンツ

小学校で学習した単語やアルファベットの再確認ができるコンテンツも充実。小中接続期だけではなく、3年間を通してご利用いただけます。

- NEW HORIZON Elementary『Picture Dictionary』フラッシュカード
- アルファベットチャート
- アルファベットの書き順動画
- 口形図動画 ●チャンツ など

動画

豊富な動画を収録。

- 資料映像
- 文法アニメ
- Previewアニメ など

オリジナルカード作成機能

オリジナルのカードの作成ができます。保存／読み込み、印刷にも対応。

ピクチャーカード

教科書のイラストや写真に加え、教科書にはないイラストも多数収録。

●指導者用教材 →資料②「指導書資料」p.①

1 指導者用リスニングCD	各学年 全13枚組(予定)。米国で録音。各Unitごとにつなげた音声も収録します。
2 ピクチャーカード	1年221枚、2年196枚、3年213枚(予定)
3 フラッシュカード	1年939枚、2年464枚、3年424枚(予定) ※「小学校の単語」を含みます。
4 指導者用DVD	教科書内容を海外ロケで忠実に映像化。

●教師用指導書(Teacher's Manual) →資料②「指導書資料」p.②-③

1 Teacher's Book(朱書編)	解答例、指示文の英訳、補充QA & TF問題、リスニングスクリプトなど。
2 解説編	教科書の内容解説、本文全訳、文法・語法解説、題材情報など。
3 指導編	指導案、オーラルイントロや生徒との対話例、年間指導計画、評価に関する資料など。
4 小中接続編	小中接続期にあたる1年1学期(Unit 0~5)の指導案。
5 ワークシート編 ①基礎・基本	活動や問題の解答記入用、「小学校の単語」の定着用、読解補助などのワークシート。
6 ワークシート編 ②アクティビティ	各単元の補充アクティビティ用ワークシート。
7 ワークシート編 ③リーディング	補充リーディング教材を各学年に合わせた語数で収録。
8 CD(音声) / DVD-ROM(各種データ)	CDにはリスニング問題の音声を収録。DVD-ROMには本文テキストやリスニングスクリプト、ワークシート、単語・連語一覧、評価システムなどのデータ(WordやExcel)を収録。さらに、4線つきフォントやイラスト、ストーリースライドのデータも収録。
9 指導者用デジタルブック	本ページ上参照。